様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月13日

八尾市長　　殿

提出者
住　所　大阪府松原市立部５丁目８番８号

氏　名　株式会社大野　代表取締役山形雅史

電話番号　072-333-5711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	八尾市管轄内事業場
事業場の所在地	八尾市管轄区域内
計画期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６　総合工事業
②事業の規模	673,270,000円
③従業員数	16人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 がれき類（コンクリート・アスファルト・がれき）は再生利用事業業者に搬入し、再生砕石として資源化する。木くずは再生利用業者に搬入し破砕して、紙・パルプ用チップとして売却する。管理型混合廃棄物は成るべく優良事業者又はリサイクル出来る業者に搬入する様に心がける。石膏ボードは再生利用業者に搬入し石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と混ざらない様にして優良指定業者に搬入する。

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）代表取締役→工事部→産業廃棄物担当課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック
排　出　量	27.09 t	1.4 t

（これまでに実施した取組）
建設廃棄物は現場で出来るだけ細かく分別し、成るべくりサイクル出来る業者、優良業者への搬入を心掛けています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック
排　出　量	25 t	1 t

（今後実施する予定の取組）
解体現場では、出来る限り細かく分別し再生業者、優良業者への搬入を心掛けます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類・木くず・ガラスくず（石膏ボード）・リサイクルできる業者へ成るべく持って行くようにしてます。石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と混ざらないように優良業者に搬入させて頂く様に心掛けてます。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
管理型混合廃棄物は細かく分別して再生できる優良業者に持って行くようにします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

ガラスくず	石膏ボード	ALC	がれき類
1 t	5.4 t	85 t	14.01 t

②計画

ガラスくず	石膏ボード	ALC	がれき類
1 t	4 t	50 t	10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

コンクリート	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯
2156.46 t	16.72 t	77.88 t	0.07 t

②計画

コンクリート	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯
500 t	13 t	50 t	0.07 t

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
（管理体制図）代表取締役→工事部→産業廃棄物担当課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	廃石綿	アスファルトガラ								蛍光灯
	排　出　量	3.3 t	11.07 t	t	t	t	t	t	t	t	0.07 t
	（これまでに実施した取組） 建設廃棄物は現場で出来るだけ細かく分別し、成るべくりサイクル出来る業者、優良業者への搬入を心掛けています。										
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類										蛍光灯
	排　出　量	2 t	8 t	t	t	t	t	t	t	t	0.07 t
	（今後実施する予定の取組） 解体現場では、出来る限り細かく分別し再生業者、優良業者への搬入を心掛けます。										

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類・木くず・ガラスくず（石膏ボード）・リサイクルできる業者へ成るべく持って行くようにしてます。石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と混ざらないように優良業者に搬入させて頂く様に心掛けてます。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 管理型混合廃棄物は細かく分別して再生できる優良業者に持って行くようにします。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

②計画

【目標】

②計画

②計画

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	ガラスくず	石膏ボード	ALC	がれき類	コンクリート	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯
全処理委託量	25 t	1 t	1 t	4 t	50 t	10 t	500 t	13 t	50 t	0.07 t
優良認定処理業者への処理委託量	25 t	1 t	1 t	t	50 t	10 t	t	10 t	50 t	0.07 t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	4 t	t	t	500 t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	3 t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組　）
現場で出る産業廃棄物は、細かく分別し再生利用業者、優良処分業者への搬入を心掛けます。

※事務処理欄

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td>【目標】</td></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃石綿</td><td>アスファルトガラ</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>2 t</td><td>8 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>2 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>8 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組　）
現場で出る産業廃棄物は、細かく分別し再生利用業者、優良処分業者への搬入を心掛けます。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

前　年　度　【令　和　４　年　度】　実　績

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府松原市立部5丁目8番8号	株式会社大野	工事部　廃棄物担当	[redacted]	072-333-5711	[redacted]	

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																	
コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①-②-③-④＋⑥-⑧-⑨＝⑫＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯）						②＋⑧ 自ら再生利用を行った量(t)	③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
												委託先による区分							
												⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理業者への処理委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)		
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑬、⑭除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	0800 木くず	27.09						0			27.09	27.09	19.19				7.9	0	0
2	0600 廃プラスチック	1.4						0			1.4							0	0
3	### ガラスくず	1						0			1							0	0
4	### 石膏ボード	5.4						0			5.4	5.4						0	0
5	### ALC	85						0			85	85					85	0	0
6	### がれき	14.01						0			14.01	14.01					14.01	0	0
7	### コンクリート	2156.46						0			2156.46	2156.46						0	0
8	### 管理型混合廃棄物	16.72						0			16.72	9.15	1.04			4.76	1.77	0	0
9	### 石綿含有産業廃棄物	77.88						0			77.88					20.09	56.98	0	0
10	### 蛍光灯	0.07						0			0.07	0.07					0.07	0	0
11	### 廃石綿	3.3						0			3.3					3.3		0	0
12	### アスファルトガラ	11.07						0			11.07	11.07						0	0
13								0			0							0	0
14								0			0							0	0
15								0			0							0	0
16								0			0							0	0
17								0			0							0	0
18								0			0							0	0
19								0			0							0	0
20								0			0							0	0
	合計	86	0	0	0	0	0	0	0	0	86	85	0	0	0	0	85	0	0

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今　年　度　【令　和　５　年　度】　目　標

提出者						
住　所	名　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府松原市立部５丁目８番８号	株式会社大野	工事部 廃棄物担当課	[redacted]	072-333-5711	072-331-9344	[redacted]

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																
		①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①-②-③-④＋⑥-⑧-⑨ ＝⑫＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯）					②＋⑧ 自ら再生利用を行った量(t)	③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
												委託先による区分						
												⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理業者への処理委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑬、⑭除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1 0800	木くず	25						0			25						25	0	0
2 0600	廃プラスチック	1						0			1						1	0	0
3 1300	ガラスくず	1						0			1						1	0	0
4 1322	石膏ボード	4						0			4	4						0	0
5 1323	ALC	50						0			50	50					50	0	0
6 1500	がれき	10						0			10	10					10	0	0
7 1501	コンクリート	500						0			500	500						0	0
8 2020	管理型混合廃棄物	13						0			13		3				10	0	0
9 2440	石綿含有産業廃棄物	50						0			50						50	0	0
10 ###	蛍光灯	0.07						0			0.07						0.07	0	0
11 ###	廃石綿	2						0			2					2		0	0
12 ###	アスファルトガラ	8						0			8	8						0	0
13								0			0							0	0
14								0			0							0	0
15								0			0							0	0
16								0			0							0	0
17								0			0							0	0
18								0			0							0	0
19								0			0							0	0
20								0			0							0	0
	合計	664	0	0	0	0	0	0	0	0	664	572	3	0	0	2	147	0	0

（注１）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下３桁まで記載は可。